

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

リハビリテーション病院入院患者を対象とした退院支援の実態と退院支援に影響を与える要因についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院に入退院した患者さん

2. 研究目的・方法

回復期リハビリテーション病棟（以下、回復期リハ病棟）には、ソーシャルワーカー（以下、SW）が配置されており、患者さんの①入院中の心理・社会的課題の解決、②退院調整・支援、③地域生活復帰支援などの役割を担っています。SW が専従配置された回復期リハ病棟では、入院患者さんの平均在院日数が短縮することが報告されています。今後は、患者さんの高齢化、重症化、また、近年急激に進んでいる社会構造の変化に伴うソーシャルハイレスク（協力者不在、経済的困窮、またその両方）のある患者さんへの退院支援が重要になることが予想されています。しかしながら、患者さんの個別要因（例；年齢、病状、ADL、認知能力）、社会環境的要因（例；協力者の有無）と入院からの在院日数、退院支援の必要性との関連については不明な点が多いのが現状です。

このため、本研究では、まず、退院支援の質の向上に資することを目的に、リハビリテーション病院の退院支援での、SW の退院支援介入の実態（例；介入症例数、介入症例の在院日数、転帰）について把握を行います。その上で、入院からの在院日数に影響を与える要因（例；年齢、介護必要度、ADL、認知機能、協力者の有無）、退院支援介入が必要となる背景要因について検討を行います。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 12 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

・ 患者さんの背景因子

性別、年齢、職業、経済状況、介護保険情報（要介護度、介護保険サービス）、家族構成、同居家族の有無、経済状況、家族以外の協力者の有無

・ 医学的情報

診断名、併存疾患、入院日、退院日、転棟日、入院期間、治療歴、転帰（退院先）、疾患別リハビリテーション料名、理学療法実施状況（PT 開始日、PT 参加回数）、作業療法実施状況（OT 開始日、OT 参加回数）、言語聴覚療法実施状況（ST 開始日、ST 参加回数）

・ ADL

日常生活機能自立度（FIM）

・ 認知機能

Mini-Mental State Examination（MMSE）、長谷川式認知症スケール（HDS-R）

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 所属 昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 総合サポートセンター 氏名 玉井 智

研究分担者 所属 昭和医科大学リハビリテーション医学講座 氏名 川手 信行

研究分担者 所属 昭和医科大学リハビリテーション医学講座 氏名 橋本 圭司

研究分担者 所属 昭和医科大学リハビリテーション医学講座 氏名 杉山 みづき

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 総合サポートセンター

氏名：玉井 智

住所：〒227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1番1号

電話番号：045-978-6121（5982）（平日 8:30—17:30）